

109 はちまんじんじゃ ずいじんもん
八幡神社の隨身門



指 定 市有形文化財 平成9年2月20日
所在地 八 幡
所有者 八幡神社

隨身門は、天保14年（1843）小諸藩主牧野遠江守康哉が大願主で、用材のうち、樺材は川西地方村々の山から調達され、構造は、三間一戸楼門で一階と二階の境は親柱に擬宝珠をつけた高欄の縁側を巡らしています。虹梁、桁の上の間等には浮彫り、高肉彫りの彫刻が施されて両脇の間には剣をはき弓を持った衣冠束帯の武官像を安置している。